

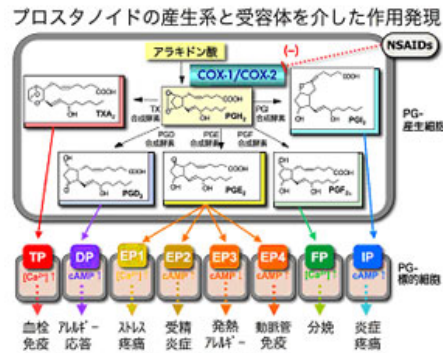
教授・杉本 幸彦

大学院生命科学部(薬学系) 環境分析科学分野 薬学生化学講座

▶ 研究内容

【プロスタノイド受容体を標的とした創薬研究】

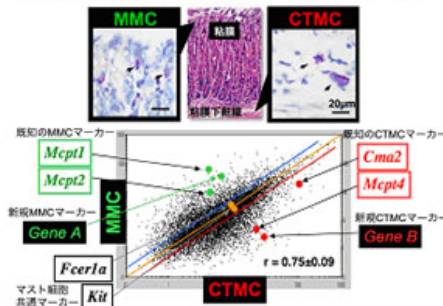
- **研究内容**
 プロスタノイドの産生・代謝・受容体による局所特異的な作用発現機構の解明。プロスタノイド受容体による細胞内シグナル活性化機構の探索。
- **求めたい共同研究**
 受容体を標的としたリガンドや分子プローブの開発。受容体の可視化による細胞内動態や個体内動態の解析。
- **可能な技術提供**
 プロスタグランジン受容体を安定発現する細胞系、受容体欠損個体を用いたインビボアッセイ系。
- **講演可能な題目**
 「アスピリンはなぜ効くのか -プロスタグランジンの作用発現機構-」



【マスト細胞を標的としたゲノム創薬】

- **研究内容**
 マウスの各組織中に点在する マスト細胞の遺伝子発現プロファイルを解析し、マスト細胞の組織軸による機能変化を理解する。また病態軸による影響を調べ、アレルギーや免疫疾患のバイオマーカーを探索する。
- **求めたい共同研究**
 ヒトへの応用研究、バイオマーカーの評価系構築など。
- **可能な技術提供**
 シングルセル超微量細胞RNA増幅法ならびにマイクロアレイへの応用。
- **講演可能な題目**
 「インビボ・マスト細胞の組織軸と病態軸」

マスト細胞サブクラスの遺伝子発現プロファイル



▶ アピールポイント

アレルギーの中心的な役割を果たすマスト細胞の組織特異的な機能や脂質メディエーター・プロスタノイドの部位特異的な作用発現メカニズムに興味を持って研究を進めています。これらはいずれも局所特異性をもっており、その特異性の発現機構に創薬標的が隠されていると考えています。

▶ キーワード

プロスタノイド受容体 マスト細胞 シングルセル発現プロファイル 炎症 アレルギー 生殖

《ご連絡先》 コーディネータ 日高 悠希 TEL 096-342-3246 FAX:096-342-3246 mail:y-hitaka@jimu.kumamoto-u.ac.jp